

2020年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473600946	事業の開始年月日	平成17年5月1日
		指定年月日	平成29年5月1日
法人名	株式会社アイシマ		
事業所名	グループホームあいあい		
所在地	( 245-0016 ) 横浜市泉区和泉町3200-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和3年2月1日	評価結果 市町村受理日	令和3年10月27日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

様々な疾患を抱えておられる御利用者様が多く生活されているため、心身共に安心して生活いただけるよう、医療との連携を密にしており、(内科・精神科の往診医、訪問看護、訪問歯科、提携医療機関)心身の状態に応じて受診や往診等の対応を行うことで、安定した体調を維持いただけるよう努めております。また、四季を感じていただけるような毎月の行事等を提供して楽しみあるグループホーム作りを行っております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和3年4月7日	評価機関 評価決定日	令和3年6月14日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、相鉄いずみ野線「ゆめが丘」駅より徒歩5分、または、横浜市営地下鉄線ブルーライン「下飯田」駅より徒歩8分のところにあります。鉄骨造り2階建て、2ユニットのグループホームです。事業所周辺には緑が多くあり、自然に恵まれた環境です。

<優れている点>

管理者は、職員と同じ業務を行うことで、日頃からコミュニケーションを図り、問題点や職員の気持ちなどを把握し、様々な意見や提案、要望を聞き、運営に反映させています。また、職員の「和」を大切にされた運営を心掛け、職員は協力し合い、チームワーク良く利用者の支援に当たっています。家族がいない生活保護受給の利用者が殆どのため、本人に常に寄り添い支える姿勢をモットーに、孤独感を軽減する支援を行っています。利用者の誕生日には必ず手作りケーキで家庭的な雰囲気の中で祝ったり、季節感あふれる行事を実施して楽しい生活が送れるよう支援しています。主治医や訪問看護ステーション、協力医療機関との連携が良くとれており、利用者の少しの異変も見逃さず、早期発見、早期受診を心掛け、利用者の体調変化に素早く対応しています。

<工夫点>

新型コロナウイルス感染症対策として、空間除菌機器や体温自動計測機器、アクリルパーティションを設置し、また、頻繁な消毒や利用者への定時適宜のバイタルチェック、職員の出勤前後の検温など工夫しています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームあいあい
ユニット名	たんざわ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
		4, ほとんどない	
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	入職時のオリエンテーションで説明し、毎月の全体会議やユニット会議等でも確認することで、共有しています。	事業所開設時に管理者と職員で考え独自に作り上げた理念を共有し、理念に基づいた支援を実践しています。今後、地域密着型サービスの意義を再確認し、来年度に事業所理念の再構築を検討しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染症が蔓延しているため、今年度の交流は一切ございませんでした。	今年度は、コロナ禍（新型コロナウイルス感染症まん延防止）のため地域交流は行っていません。地域情報は町内会の回覧板で得ています。コロナ禍以前は地域の敬老会や防災訓練に参加し、交流を図っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	グループホームがどのような施設なのか、介護保険サービスが必要な状態となった時には、どのように対応すればよいのか等を電話でお問い合わせいただき、説明させていただきました。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	今年度は新型コロナウイルス感染症蔓延のため、1回のみで開催となりましたが、グループホームでのコロナウイルス対策について説明させていただきました。対策についての意見はございませんでした。	今年度はコロナ禍のため、1回のみで開催になっています。コロナ禍以前は年6回定期的に開催し、地域行事や福祉情報、防災に関する意見交換などを行っています。外部評価や目標達成計画なども報告しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	各区（泉区、保土ヶ谷区、中区、青葉区、磯子区）のケースワーカーと連絡を取り、御利用者様の状況報告や、お金・必要書類等についてのお話しを行ったり、区役所を訪問したりして協力関係を築いています。	行政の生活支援課や高齢支援課と連携し、協力関係を築いています。生活保護を受けている利用者が多いので、生活支援課とは、常に情報交換、連絡、相談し、助言を得ています。ケースワーカーが定期的に来訪しています。介護認定更新の申請代行を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束等の研修を行って、拘束しないケアを理解・認識したり、自己点検シートを活用して自分自身が行なっているケアの姿勢を見直しています。玄関の施錠については、御利用者様が安心してお過ごしいただけるように施錠しています。	身体拘束研修を実施すると共に、職員の自己点検シートを活用し、身体拘束をしない支援の実践に務めています。管理者は、職員の自己点検シートにより、問題が見られる場合は個別指導を行い、また、不適切な言葉や行為を確認した場合は、すぐに注意し、指導を行うようにしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止に関する研修を実施し、理解を深めることで虐待を防止するよう努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を活用している御利用者様がおられるため、その都度必要な事についての話し合いを行って対応していますが、制度の理解を深める機会は持っていない状況です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、総合相談室という専門部署のスタッフと共に詳細を説明してご理解いただき、入居後に起こりうるリスクについても説明して、納得いただいた上で契約締結を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様からの意見や要望等を伺う相談窓口を設置し、必要に応じて相談いただいております。また公的機関での相談窓口の連絡先を掲示したり、契約書類の重要事項説明書にも記載しております。	コロナ禍のため、家族の面会は中止しており、電話や手紙で連絡を取り、意見や要望を聞くようにしています。通常は家族の面会時や家族会、運営推進会議などで意見や要望を把握し、運営に反映させています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体会議やユニット会議の場や個別に意見や提案を受けて運営改善出来るよう活かしております。例として、連絡ノートを活用してスタッフから業務改善についての提案を受け、実践しています。	管理者は、職員と共に日常業務も行っており、常にコミュニケーションを図り、声掛けを多く行い、話しやすい雰囲気づくりを行っています。全体会議やユニット会議、申し送りなどを通じて職員の意見や提案、要望などを聞く機会を設け、運営に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者はスタッフと同じ現場で同じ業務を行い、個々のスタッフの状況や問題等を把握して、必要に応じて解決を図るようにしております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に勉強会（今年度は自己研修）を行って介護スキルの向上を図っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	会社内での職員旅行は実施しましたが、それ以外については、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、実施できませんでした。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居までの間に入居担当の総合相談室スタッフが、要望や不安等を把握し、問題解決の支援を行っております。入居後は、管理者やスタッフが訴え等を把握して解決できるよう対応しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居までの間に、入居担当の総合相談室スタッフが、要望や不安等を把握し、問題解決の支援を行っております。入居後は、管理者やスタッフが訴えや要望等があった場合は、出来る限り解決できるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御利用者様やご家族様が必要としている状況を確認し、必要な事があれば、その都度対応し、解決を図るよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の関りを多く持つことで、心身の変化に出来るだけ多く気づき、御利用者様の思いを理解し、共有するように努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会はできない状況のため、電話や手紙等で御利用者様の状況をお伝えし、共にご利用者様をお支えするという気持ちで対応させていただいております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルス感染症蔓延のため、面会やご家族様との外出を中止しているため、支援が難しい状況です。	コロナ禍で面会を中止しており、また、大多数の利用者は家族や友人、知人もいないため、馴染みの人の面会が殆どないのが現状です。好きな将棋を打つことや読書好きな人へ本の提供するなど、本人の好みや趣味の継続を支援しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	行事や散歩等を行い、孤立することなくご利用者様同士が交流を持つことが出来るよう支援するとともに、個別に思いを把握し、スタッフが間に入ることでスムーズな関係が気付けるよう努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	以前入居されておられた御利用者様の御家族様（妻）から時折お電話をいただき、体調の確認や近況等を伺うようにして継続した関りを持っております。		
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人様と関わる中で、御利用者様の希望を伺い、意思疎通が難しいご利用者様については、行動・言動等から思いを把握するようにしています。	本人と1対1（居室、散歩、入浴）で話しやすい状況の時や、何気ない日常会話の中で利用者一人ひとりの性格や状態に応じた対応を心掛け、思いや意向の把握に努めています。意思疎通が困難な利用者については表情や言動などから把握しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の事前面接から生活歴や趣味などを伺い、経過等の把握に努めております。生活歴の不明な方については、お話を通して出来るだけ把握するように対応しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の生活の中で（言動・行動・バイタルサイン等）変動がないかを確認し、状態把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御利用者様やご家族様からの希望を反映したり、スタッフが日々のケアで課題等を把握し、ユニット会議等で話し合っ て介護支援計画を作成しております。	ユニット会議で利用者の状態変化や状況、課題などを協議し、本人・家族の意向、医療情報を勘案しケアプランを作成して います。通常は3ヶ月ごとに、モニタリング、評価、アセスメントを実施し作成して います。必要に応じ適宜見直しを行って います。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人ファイルに日々の様子を記録して います。ケア内容の変更等は申し送り や専用ファイル等で、全職員が情報を 共有するようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご家族様・御利用者様の状況に応じて 対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域にある診療所（眼科・皮膚科）を 利用することで、御利用者さまの通 院遅負担を軽減し、安心して暮らして いただけるよう支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時に事業所の協力医（内科・精神 科）を主治医にさせていただいて おりますが、専門的な治療が必要な 場合は、近隣の病院受診を行い、 適切な医療を受けることによって、 回復を図っております。	入居時に説明をし、全員が事業所の 協力医をかかりつけに変更して います。定期的な訪問診療以外に 通院が必要な場合は、職員が 付き添っています。協力医、訪問 看護師ともに24時間のオン コール体制があり、適切な医療 につなげています。	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	医療連携ノートを活用し、変化が見られた利用者の情報を伝え、情報に対しての助言や、指示を受けてご利用者様対応に役立っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後は担当医師・医療ソーシャルワーカーと相談して情報交換を行い、早期に退院できるようにお願いしております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に御家族様には、ターミナルケアが可能であることを説明しております。ターミナルケアが必要になった場合は、主治医・訪問看護、スタッフが連携して1つのチームとして対応しております。	終末期・重度化した場合の事業所の考え方について入居時に説明し、同意を得ています。利用者の状況変化に伴い、「重度化」と医師が判断をした場合は再度家族などと話し合い、方針を共有しています。今年度、看取りの事例があります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時の対応についてはマニュアルに定めて対応しております。新型コロナウイルス感染症のため今年度は研修に参加しておりませんが、普段であれば消防署での講習会等に参加させていただいております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防災訓練を行っております。非常食の備蓄も3日分用意し、いざという時に備えております。コロナ時以外では、地域の方に訓練参加（見守り対応）いただいております。	年2回、避難訓練を行っています。今年度はコロナ禍で消防署の立ち会いや地域の協力を得ず、独自に行っています。備蓄は、3日分程度の食料、備品類をリスト化して管理し、コンテナで保管をしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	御利用者様の誇りやプライバシーに配慮した言葉かけやケアを行っております（馴れ馴れしい口調に注意し、丁寧な言葉遣いを心掛けています。排泄誘導時等の声の大きさにも注意しています）	人権、認知症理解、接遇などの研修を行い、意識を高めています。馴れ馴れしい口調にならないよう心がけているほか、声の大きさにも注意を払い、本人の誇りやプライバシーを損ねない呼び掛けや言葉遣い、態度で接するようにしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	散歩や体操、行事等の参加確認や、何を行いたいのかを確認・決定いただくよう声掛け対応をしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人ひとりの生活リズムを尊重し、希望をお聞きして、御利用者様が望まれるように過ごしていただいております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で対応できない方には希望をお聞きして着たい服や、整髪などの介助をさせていただいております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食べたい料理をお聞きして希望の料理を調理したり、料理の下ごしらえにも参加いただいております。関連事業所の中華レストランからの食事配達やマグロの刺身配達等、いつもとは違う食事も楽しんでいただいております。	業者から届く食材から職員が献立を考え、調理しています。料理の味見や下膳などに利用者は関わっています。時には利用者の希望を反映した献立を提供しています。関連事業所レストランからの食事配達や冬場の刺身など、食を楽しむ工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分・食事摂取チェック表を確認し、不足がないようにしております。水分摂取量が少ない方に対しては、飲みやすい飲物を提供したり、嚥下状態や消化状態に応じた食事形態にして、個々の状態に合った食事提供を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアを行っております。必要な方には毎週土曜日に、訪問歯科による口腔ケアや治療を受けていただいております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表からご利用者様の排泄状況を把握し、失禁が少なくなるようトイレ誘導を行い、トイレでの排泄を行えるよう支援しております。	排泄の自立をしている利用者は自分のペースでトイレに行っています。支援が必要な場合は定時の声かけや本人の様子を見ながらトイレ誘導をしています。今年度、改善事例はありませんが、職員の適切な支援で利用者は現状維持を保っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事内容（野菜豊富な副食提供）や摂取量、水分摂取量に常に注意するとともに、散歩や体操等の活動を行うことにより、自然排便につながるよう支援しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週に2～3回は入浴いただき、自力で入浴を希望される方には、見守りを行っております。また色々な入浴剤等を使用して、楽しみある入浴提供を行っております。	週2、3回の入浴を支援していますが、希望があれば、毎日でも対応が可能です。介護度が高い場合はシャワー浴対応や訪問入浴を利用しています。浴槽の湯は一人ずつ入れ替えしており、全員が一番風呂を楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	安心して休んでいただけるように、不安や寂しさ等で眠れない方には訴えを傾聴して不安の改善を図ったり、生活習慣（就寝時間・就寝薬）に合わせた対応を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個人ファイルに薬剤情報をファイルして常に確認できるようにし、薬の変更がある場合は、申し送りや連絡ノートの活用で周知しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	御利用者様の希望されるレクリエーションをお聞きして提供したり、洗濯物たたみや掃除等の役割を持っていただくことで、日常生活の活性化を図っております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ホーム周辺の散歩や、ドライブを行ったり、ホームのウッドデッキでくつろいでいただいたりし、外出が難しい方にも外出いただけるように支援しております。	コロナ禍ですが、天気の良い日は近くの遊歩道のある河原や駅付近を散歩したり、泉区内をドライブしたり、事業所のウッドデッキで日光浴をしたりすることを継続しています。不特定多数の人々との接近がある場所への外出はコロナ収束後と考えています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個人での金銭管理は困難なため、ご家族様か、本社経理部で管理しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	各階に電話があり、いつでも電話を掛けられるようにしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有エリアにはご利用者様作品や、季節感ある飾り、見て楽しめる飾り付けを行っております。空調管理もこまめに行って、快適に過ごしていただけるよう配慮しております。	1日3回の清掃のほか、定時消毒、換気、空間除菌機器、アクリル板の仕切りなどコロナ対策を講じています。利用者の作品や季節感のある飾りつけなど、観て楽しむことができるようにしています。時代劇のビデオ鑑賞、卓上ゲーム、各種レクリエーションなど全員で楽しんでいます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有フロアにはソファを設置して、ゆったりと過ごしていただけるよう配慮しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に、愛用していた家具等を自由にお持ち込み頂くようにしたり、好きな飾りやカレンダー等を壁に貼ったりして、心地良く過ごして頂けるような対応をしております。	事業所の備え付け品のほか、タンス、テレビ、写真、人形など本人の馴染みのものや愛用品を持ち込んでいます。居室担当職員を中心に、清掃、整理整頓、衣類の入れ替え、不足品のチェックなどの支援をし、快適さに配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	要所要所に手すりを設置して身体機能を活かせる環境づくりをしております。また、トイレ・居室には表札を貼って、認識いただきやすく生活しやすい環境づくりを行っております。		

事業所名	グループホームあいあい
ユニット名	おおやま

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
		4, ほとんどない	
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	入職時のオリエンテーションで説明し、毎月の全体会議やユニット会議等でも確認することで、共有しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染症が蔓延しているため、今年度の交流は一切ございませんでした。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	グループホームがどのような施設なのか、介護保険サービスが必要な状態となった時には、どのように対応すればよいのか等を電話でお問い合わせいただき、説明させていただきました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	今年度は新型コロナウイルス感染症蔓延のため、1回のみで開催となりましたが、グループホームでのコロナウイルス対策について説明させていただきました。対策についての意見はございませんでした。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	各区（泉区、保土ヶ谷区、中区、青葉区、磯子区）のケースワーカーと連絡を取り、御利用者様の状況報告や、お金・必要書類等についてのお話しを行ったり、区役所を訪問したりして協力関係を築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束等の研修を行って、拘束しないケアを理解・認識したり、自己点検シートを活用して、自分自身が行なっているケアの姿勢を見直しています。玄関の施錠については、御利用者様が安心してお過ごしいただけるように施錠しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止に関する研修を実施し、理解を深めることで虐待を防止するよう努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を活用している御利用者様がおられるため、その都度必要な事についての話し合いを行って対応していますが、制度の理解を深める機会は持っていない状況です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、総合相談室という専門部署のスタッフと共に詳細を説明してご理解いただき、入居後に起こりうるリスクについても説明して、納得いただいた上で契約締結を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様からの意見や要望等を伺う相談窓口を設置し、相談いただいております。また公的機関での相談窓口の連絡先を掲示したり、契約書類の重要事項説明書にも記載しております。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体会議やユニット会議の場や個別に意見や提案を受けて運営改善出来るよう活かしております。例として、連絡ノートを活用してスタッフから業務改善についての提案を受け、実践しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者はスタッフと同じ現場で同じ業務を行い、個々のスタッフの状況や問題等を把握して、必要に応じて解決を図るようにしております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に勉強会（今年度は自己研修）を行って介護スキルの向上を図っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	会社内での職員旅行は実施しましたが、それ以外については、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、実施できませんでした。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居までの間に入居担当の総合相談室スタッフが、要望や不安等を把握し、問題解決の支援を行っております。入居後は、管理者やスタッフが訴え等を把握して解決できるよう対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居までの間に、入居担当の総合相談室スタッフが、要望や不安等を把握し、問題解決の支援を行っております。入居後は、管理者やスタッフが訴えや要望等があった場合は、出来る限り解決できるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御利用者様やご家族様が必要としている状況を確認し、必要な事があれば、その都度対応し、解決を図るよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の関りを多く持つことで、心身の変化に出来るだけ多く気づき、御利用者様の思いを理解し、共有するように努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会はできない状況のため、電話や手紙等で御利用者様の状況をお伝えし、共にご利用者様をお支えするという気持ちで対応させていただいております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルス感染症蔓延のため、面会やご家族様との外出を中止しているため、支援が難しい状況です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	行事や散歩等を行い、孤立することなくご利用者様同士が交流を持つことが出来るよう支援するとともに、個別に思いを把握し、スタッフが間に入ることでスムーズな関係が気付けるよう努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	以前入居されておられた御利用者様の御家族様（妻）から時折お電話をいただき、体調の確認や近況等を伺うようにして継続した関りを持っております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人様と関わる中で、御利用者様の希望を伺い、意思疎通が難しいご利用者様については、行動・言動等から思いを把握するようにしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の事前面接から生活歴や趣味などを伺い、経過等の把握に努めております。生活歴の不明な方については、お話を通して出来るだけ把握するように対応しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の生活の中で（言動・行動・バイタルサイン等）変動がないかを確認し、状態把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御利用者様やご家族様からの希望を反映したり、スタッフが日々のケアで課題等を把握し、ユニット会議等で話し合っ て介護支援計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人ファイルに日々の様子を記録しています。ケア内容の変更等は申し送りや専用ファイル等で、全職員が情報を共有するようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご家族様・御利用者様の状況に応じて対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域にある診療所（眼科・皮膚科）を利用することで、御利用者さまの通院遅負担を軽減し、安心して暮らしていただけるよう支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時に事業所の協力医（内科・精神科）を主治医にさせていただいておりますが、専門的な治療が必要な場合は、近隣の病院受診を行い、適切な医療を受けることによって、回復を図っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	医療連携ノートを活用し、変化が見られた利用者の情報を伝え、情報に対しての助言や、指示を受けてご利用者様対応に役立っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後は担当医師・医療ソーシャルワーカーと相談して情報交換を行い、早期に退院できるようにお願いしております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に御家族様には、ターミナルケアが可能であることを説明しております。ターミナルケアが必要になった場合は、主治医・訪問看護、スタッフが連携して1つのチームとして対応しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	急変時や事故発生時の対応についてはマニュアルに定めて対応しております。新型コロナウイルス感染症のため今年度は研修に参加しておりませんが、普段であれば消防署での講習会等に参加させていただいております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防災訓練を行っております。非常食の備蓄も3日分用意し、いざという時に備えております。コロナ時以外では、地域の方に訓練参加（見守り対応）いただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	御利用者様の誇りやプライバシーに配慮した言葉かけやケアを行っております（馴れ馴れしい口調に注意し、丁寧な言葉遣いを心掛けています。排泄誘導時等の声の大きさにも注意しています）		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	散歩や体操、行事等の参加確認や、何を行いたいのかを確認・決定いただくよう声掛け対応をしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人ひとりの生活リズムを尊重し、希望をお聞きして、御利用者様が望まれるように過ごしていただいております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で対応できない方には希望をお聞きして着たい服や、整髪などの介助をさせていただいております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食べたい料理をお聞きして希望の料理を調理したり、料理の下ごしらえにも参加いただいております。関連事業所の中華レストランからの食事配達やマグロの刺身配達等、いつもとは違う食事も楽しんでいただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分・食事摂取チェック表を確認し、不足がないようにしております。水分摂取量が少ない方に対しては、飲みやすい飲物を提供したり、嚥下状態や消化状態に応じた食事形態にして、個々の状態に合った食事提供を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアを行っております。必要な方には毎週土曜日に、訪問歯科による口腔ケアや治療を受けていただいております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表からご利用者様の排泄状況を把握し、失禁が少なくなるようトイレ誘導を行い、トイレでの排泄を行えるよう支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事内容（野菜豊富な副食提供）や摂取量、水分摂取量に常に注意するとともに、散歩や体操等の活動を行うことにより、自然排便につながるよう支援しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週に2～3回は入浴いただき、自力で入浴を希望される方には、見守りを行っております。また色々な入浴剤等を使用して、楽しみある入浴提供を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	安心して休んでいただけるように、不安や寂しさ等で眠れない方には訴えを傾聴して不安の改善を図ったり、生活習慣（就寝時間・就寝薬）に合わせた対応を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個人ファイルに薬剤情報をファイルして常に確認できるようにし、薬の変更がある場合は、申し送りや連絡ノートの活用で周知しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	御利用者様の希望されるレクリエーションをお聞きして提供したり、洗濯物たたみや掃除等の役割を持っていただくことで、日常生活の活性化を図っております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ホーム周辺の散歩や、ドライブを行ったり、ホームのウッドデッキでくつろいでいただいたりし、外出が難しい方にも外出いただけるように支援しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個人での金銭管理は困難なため、ご家族様か、本社経理部で管理しております。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	各階に電話があり、いつでも電話を掛けられるようにしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有エリアにはご利用者様作品や、季節感ある飾り、見て楽しめる飾り付けを行っております。空調管理もこまめに行って、快適に過ごしていただけるよう配慮しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有フロアにはソファを設置して、ゆったりと過ごしていただけるよう配慮しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に、愛用していた家具等を自由にお持ち込み頂くようにしたり、好きな飾りやカレンダー等を壁に貼ったりして、心地良く過ごして頂けるような対応をしております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	要所要所に手すりを設置して身体機能を活かせる環境づくりをしております。また、トイレ・居室には表札を貼って、認識いただきやすく生活しやすい環境づくりを行っております。		

2020年度

## 目標達成計画

事業所名 グループホームあいあい

作成日： 令和3年 10月 10日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	新型コロナウイルス感染症感染リスクを下げるために、外部への外出が近隣への散歩以外にできていない。ご利用者様の気分転換と楽しみあるホーム生活のためにも重要である。	感染状況を見ながら外部への外出レクリエーションを実施する。	まずは、近場で人が少ないような場所への外出を企画し、実施していく。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月